

広
報

た
な
べ

地方自治法施行20周年優良町村表彰記念号

田 辺 町 役 場

電話田辺271~274

発行人 京都府田辺町公室

印刷所 奥田印刷 K K



ふるさとを行く・13 興戸



輝やかなしい新春をむかえ、みなさまのご健康とご幸福をお祈り申し上げます。平素は、町政の推進に多大のご協力をいただき深く感謝いたしております。

いま、私たちの町は大都市近郊の急激な変ぼうの中にあつて、新しく生まれ変わろうとしています。新年にあたり、私は住民のみなさんと一丸となつて、将来さらに調和均こうのある計画のもとに緑のある健康な町づくりを進めたいと念願しております。

みなさんのご協力をおねがい申し上げます。

田辺町長 原田喜代次

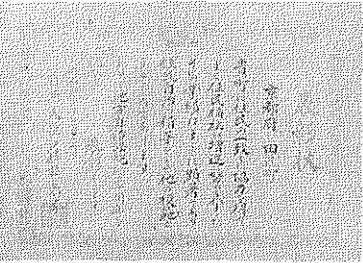
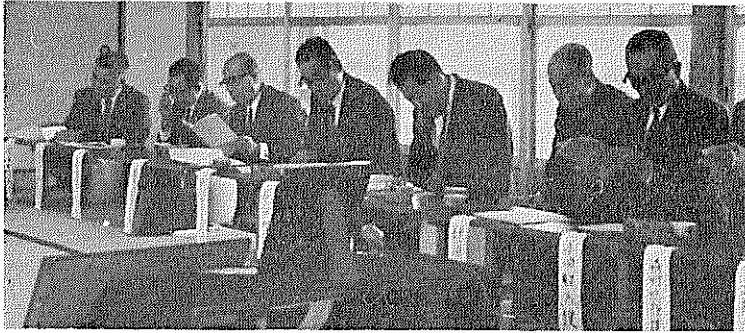
'68.1

No. 58

成人の日をむかえられたみなさんおめでとうございます

新春特集

きょうの田辺・あすの田辺



昨年十一月十七日、東京で開かれた地方自治法施行二十周年記念大会で本町は優良町村として自治大臣から表彰をうけました。これは住民みなさんの一致した協力を得て、よく住民福祉の増進に努めたというものです。本紙ではこれを記念して、住民のみなさんにお集りいただき座談会を催しました。

司会 お忙しい年の暮れにみなさんにお集りいただき恐縮に存じます。これから「むかしの田辺・きょうの田辺・あすの田辺」といったテーマで自由に話し合っていたくことになりました。まずむかしの田辺はどんなものだったのでしょうか。

人力車や帆かけ舟が：

A 私は明治二十一年の生れです。ものごころのついた当時の旧田辺は細い道路だったが、田辺・八幡線があり、田辺・奈良街道がありました。浜新田には渡しもあり、人力車が当時、二台も田辺にありました。木津川の帆かけ舟も記憶に残っています。舟は薪から、大阪の八軒屋まで物資をおくり、帰りは大阪の商品をもって帰ってきたといわれます。その当時の交通機関は人力車と帆かけ舟でした。田辺の住

民の八割は農家で、人情は純朴でした。

片町線にはじめて田辺駅ができて住民も非常に喜び、明治三十一年四月に田辺の駅前で祝賀会がひらかれました。その前後が田辺のれいめい期であったといえるでしょう。明治三十六年にステーション道ができ、はじめて町役場もできました。田辺村では早く町制を敷いたということで、三十九年十月にそれが実現しました。

町合併のこと

司会 田辺町は昭和二十六年に合併しました。合併当時の苦労ばなしについて、何かあれば話してください。

B 私は旧田辺町からでいた合併委員でした。中心が田辺で、早く田辺の態度をきめようということでしたが、大住や草内は難航しました。普賢寺、田辺、三山木の委員が大住と草内をくどき落したのです。ともあれ、合併の功労者は旧田辺町の町長だった故市川忠二氏です。合併によって今日の田辺町がきづかれたといえます。合併までまことに細かい苦労がありました。合併してよかったです。

C 私も当時の合併委員でした。多くの先輩諸氏の努力で今日の田

辺町ができたと思っています。合併は田辺町を中心に草内村、普賢寺村、三山木村の吸収合併の話ができました。当時、村長や助役、議長、副議長などのメンバーで合併委員が組織され、いくたびとなく協議されたものです。私たち委員は、府下で合併の早かった網野町へ視察したりして、いろいろ研究し話し合ったのもいまから思えば有益でした。

まず準用河川に

A 当時、市川忠二氏が初代町長でした。市川町長が公選の町長になると信じていましたが、五つの町村が合併したときは、五人の町長があつたわけで、その五人の町長は誰れも初代町長にならずに別の白紙の人を選ぼうということになり、私が無投票で町長に就任したのです。私も旧田辺町長をやつてから長いブランクがあり、町長になって、六、七か月は合併後の田辺をどうするかの研究に費しました。町には八つの天井川があり、これを何とかしなくてはというので準用河川に編入するのが先決だと思いました。さいわい二十七年に四つの河川が準用河川に編入し、翌年には三つの河川が編入しました。

司会 合併当時、一般住民であつたみなさんは、この合併をどのようにみておられましたか。そして合併後の町はどうでしたか。

D 合併当時のことはくわしく知らないが、今日自治大臣表彰をうけた文面を見ると「住民の一致した協力で」とあります。今日の町の基礎をきづかれた先輩各位に敬

意を表したいと思います。町の歴史をふりかえつてみても仁徳天皇や継体天皇の史実など過去の歴史には光榮があります。明治に入つても、町内には多くの義塾ができ教育にも熱心な土地でした。当時の町民の時世へのめざめは早かったといえるでしょう。府会議員も田辺から多くでておられます。

忘れ得ぬ大水害

E 合併した時はおそまつな校舎が多かつた。なかでも田辺中学校の校舎には苦労をしました。北川町政の第一期の四か年は庁舎や各校の校舎改築にあつたといえます。また、二十八年の南山城水害はいまも身にしみて思い出がつかまません。田辺も大被害をうけたが井手町は全くひどかつた。玉水橋が落ちたので井手町への救援は木津まわりで行かねばならなかつたのです。

つづいて、十三号台風がきた。木津川は増水し、宇治川は決壊した。しかし今日、木津川はもう、決壊しないという確信ができたのか、木津川のほとりには会社も建っています。今昔の感がありますね。

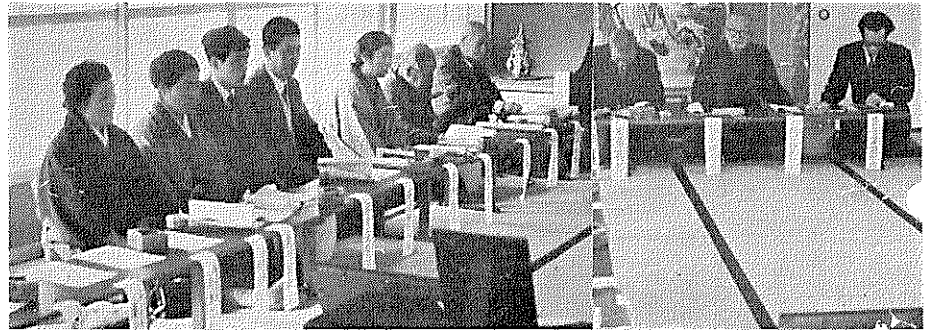
F 合併当時は婦人会や育友会の活動が低調でした。校長先生の指導で、町内各区の婦人会が活動していました。教育委員会ができて、自分たちの民主的な力で活動しようという気運がたまりました。その後私もはじめて教育委員になり、町内の各学校をまわりました。田辺中学校の校舎は大変おそまつな状態でした。当時、私たちが委

むかしの田辺

ふるさとの回顧 と展望の座談会

ご出席いただいた 方がた

右から席順に、小田収入役・村田助役・森島助役・原田町長・藤本菊松建設委員長・北川朝二経済委員長・寺本幸男文教厚生委員長・高村安夫総務委員長・岡木末男議長・藤原田辺事務所長・北川橋太郎元町長・出島義一元議長・村田太平さん・堀口高好さん・村上美代町婦人会長・岡本茂治さん・西川五十一さん・奥西スエ子さん・吉川末野さんほかに北村町青年団長・森村総務課長・岩本会計課長・吉田住民課長・古林水道課長ら、司会は前川公室次長。



員は、将来の田辺町の学校のビジョンをたてていかねばならないとよく話し合いましたが、今日立派な校舎をみて、これまでのみなさんの苦心がよくわかりました。また、婦人もむかしは修養団体といったものでしたが、いまは自分たちの生活を守るための組織だということ、また町政や社会のうごきを見守り、学んで行かねばならないと思います。婦人会と家庭を両立させ、青年団の方がたと私たち母親がしっかり手をにぎり、町をよくして行きたいと思っています。

G 合併当時から今まで町議会で経済委員会を担当し、考えたことは、働きやすい町の周辺へのき地的な土地の農業のあり方について力を入れたと思います。農業をするのに不便な地が町内にあった。たとえば普賢寺地域や飯岡、松井などの一部分です。まず農道や用排水路を整備して、農業の後継者づくりに努めたい。また立派な農道を新設することも大切です。ここ数年前までは、へき地の農家に嫁がないといわれてきましたが最近では変わってきています。まず農道を拡張し立派な農道にして機械力で楽な農業にしたい。そうすれば後継者もでしょう。これから新しい農業経営を考えよう。



座談会を終えて……（一休寺大雲軒で）

H 農業青年に希望を！ 私の世代のほとんどは農業に力を入れてきましたが、その後の若い人たちは都会へでて農業後継者が減っています。ことし（昭和四十二年）の夏の水不足でも、みんなやかましくいっていましたが、すぐには資本の投資もされない。その反面、工場や住宅の話があると、祖先の土地をはなしては農業ができないとみんながいう。農業を振興さす気があるのかどうかと疑問に思います。もって農業をする青年に希望もてる政策をうち出してほしい。

I 町長がいつも言われるように、これからの町づくりは住民と一体になって進めていかねばならないと思います。例えば昔からよく「あの道は、誰々道だ」というようなことがいわれたが、現在は、そんなものは通用しないのです。いまは町長が住民とよく話し合って考えたもので、住民の福祉に結びついた町づくりが行われなければならないと思います。住民の犠牲のうえに立つものであつてはならないのです。まず、住民の利益になるよう考えたいので町政を進めてほしいのです。現在私たちの町は、とくに産業の振興がお

J 私たち青年は、いつも同窓会などで話し合うのですが、よき時代に育ったと感謝しています。町の新しい歴史が合併を第一期とするなら、第二期は現在であると思います。町を田園都市にする計画はありますが、ふるさと、自然をそこなわず、いまのまま、であつてほしいと思っています。静かなたづまいをいつまでも残しておいてほしいと思います。

K 大小にかかわらず、私たちは公害には困ります。これからの町づくりは公害のないようにしてほしいと思います。

L これからの田辺の町づくりは私たち青年団や婦人会の意見をどうして聞いて町づくりの構想をねってほしいと思います。

M 数日前に、四十一年度の監査をしましたが、町税の納税成績がよいのです。百パーセントに近い成績でしょう。これは町民の一致協力のためのものであります。合併当時から今日までふりかえってみますと、産業経済面の振興が欠けていたと思います。現代は農業や商業経営がやりにくくなっています。どのようにすればよいか根本的に考えねばならないのです。町の商店を見ても、現在やめる人があります。それらの人の気持ちになって、血のかよった町政をしなればならないと思います。

N 町一本になった婦人会もご自主的に活動したいものです。

清潔な町に

〇 このあいだ婦人会の初の試みである郷土史跡めぐりに参加して、こんな立派な文化財が郷土にあったのかと再確認しました。また私たち主婦のおねがいはゴミ集めの改善です。たとえばゴミを入れるビニール袋を町で配布していただければ、ゴミも清潔にあつかえると思うのです。

E いま町合併のご苦心をおききし、またみなさんの意欲的な意見に接し、たのもしく思います。木町は山城・綴喜の中心です。さ

いさんも町長との対話のつどいなどもたれ、きめの細かい町政をすすめていただき、心強く思っています。このレールのうえに将来のビジョンをのせて、ふるさとを守る新しい町づくりをおねがひしたいと思います。

町長のビジョンは

司会 それではこのへんで原町町長から将来の夢をきき、それについて話し合ってみたいと思います。

町長 これからの町づくりは町長ひとりではできないのです。住民のみなさんの参加が必要なのです。前町長さんが進められた田園都市計画をもとにして、私は緑のある健康な新しい町づくりを推進したいと思えます。いまの環境や人情の厚さをどうして維持して行くかを考えながら、わが田辺町に住む人が働きに出て行く町でなく、いつまでも住みつく個性のある町をつくりたいと思っています。

のために工場も必要です。町が自然にできるのではなく、これからの町は都市計画でつくって行く町なのです。いまがその大切なときであると思います。また、まだ住民のみなさんの心のどこかには、旧村意識が少しばかりあるのではないのでしょうか。そんな意識をすててほしいと思えます。そのためには、町のみんなが利用でき交える共通の場―施設をつくることも大切だと思っています。このう

えとも、みなさんのご協力をおねがひしたいのです。

B 盗びとをとらまえて、縄をなうというのでは時代のテンポをおくれれます。町の将来、五年いや十年さきのビジョンの確立が大切です。どういう田辺町がよいか、町の総頭脳をあつめた計画をたてるべきだと思います。そして町政には住民の声を結集し、議員はその代弁者となり議会のあり方も積極的にならねばならないのです。

C 将来の夢を実行にうつす気持が大切です。町の発展は、町理事者と議会が一体とならねばならないと思えます。また、婦人会や青年団の方がたと相談してやって行かねばなりません。

緑を町の隅々に

A 原町町長就任後、みどりのある町として町の本も選定されました。よい着想だと思えます。緑地帯をつくることはよいが、山林を伐採したあとには誰れも木を植えない。杉や檜を植え、小鳥の棲む町をつくりたい。ちょうど甘南備山には杉や檜の適地があります。

甘南備山の地質については以前、大学の先生が調査されました。その結果、現状をかえることはいけないということでした。私は甘南備山は山城盆地の富士山だと思えます。現状のまゝを維持し、ここに本当の緑地帯をつくらう。たとえば岩石園をつくったり、花崗などをつくって町の宝として開発し育ててはどうでしょうか。

表彰のあとが大切

D 表彰をうけたあとが大切です。こん二十年間は田辺町の転換期であると思っています。さらに住民みんなががんばらねばならないと思えます。

H 消防団の立場から考えてもいまは転換期にあると思えます。新しい住宅がどんどん建ちますが、ここには消防団もないのです。こんご町でこうした新団地の消防行政を十分考えてほしいと思えます。

F これから町は人口も、どんどんふえるので町に社会教育の中心となる住民センターがほしいと思えます。ここに町民が勉強できる図書館を充実してほしい。また子どもが安心して遊べる児童公園もほしいと思えます。母親の立場からもおねがひします。

M これからは田辺町がよくなるだけでなく、周辺の町とも手をにぎって協力しあうことが町づくりには大切であると思えます。

司会 長時間にわたって貴重なご意見をおきかせいただきありがとうございます。ありがとうございました。(文責・古川)

建設工事すゝむ 田辺中特別教室

簡保や年金の特別融資で

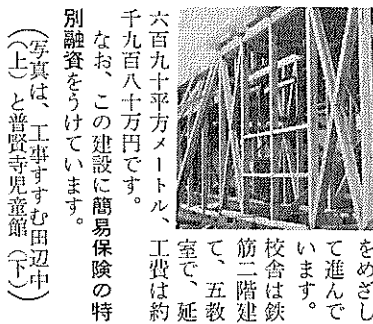
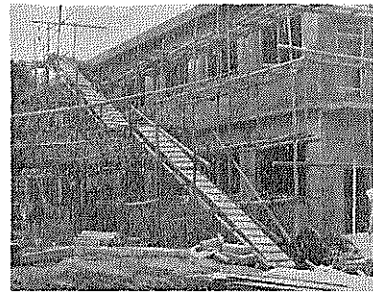
普賢寺には児童館を

〇老朽化した普賢寺保育所を改築し、児童館を建設します。木造平屋建て、二百四十四平方メートルで工費は約五百九十七万円です。児童館には保育所や遊戯、集会、図書室などが完備される計画で、ことし三月には完成します。なお、この児童館建

設には、国民年金の特別融資をうけています。

〇美術、理科、家庭教室などがなく不便だった田辺中学校の特別教室建設工事が、ことし三月の完成をめざして進んでいます。校舎は鉄筋二階建て、五教室で、延

六百九十平方メートル、工費は約千九百八十万円です。なお、この建設に簡保保険の特別融資をうけています。



(写真は、工事すすむ田辺中(上)と普賢寺児童館(下))

戦没者の父母らに特別給付金

戦没者の父母や祖父母にことし五月から五年間にわたって特別給付金が支払われます。(額は十万円で五年以内に償還する無利子の記名国債)これに該当する人は、昭和十二年七月七日以後の公務上の傷病によって死亡されたもの軍人、軍属、準軍属の父母や祖父母であって、戦没者の死亡当、戦没者以外

に子も孫もなく、なおその後、昭和四十二年三月三十一日までの間に子(養子、継子、庶子を除く)も孫も出生しなかった人で、昭和四十二年四月一日において公務扶助料などの給付を受けている人や受ける権利があるとみなされる人です。

くわしくは、町役場福祉課までおたづねください。

一般会計

着実なあゆみを

昭和42年度の町の台どころ

昭和四十二年度も四分の三をすぎ、いよいよよめくくりの三か月を残すのみとなりました。

四十二年は、とくに町長・町議会議員の選挙が行なわれ、新しい町の体制が整えられました。

そして六月には、新町長による一般会計第一号補正予算が、また十月には第二号の補正予算が可決され、着実な歩みをつづけております。そこで、今までの予算のあらましをお知らせするとともに、町政を知る上にとつて参考としていたゞければ幸いです。

ちなみに田辺町の台どころをまかなう会計の種類と現在の予算総額はつぎのとおりです。(歳入歳出予算額)

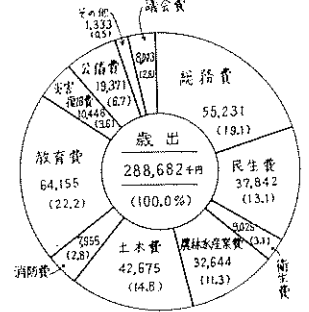
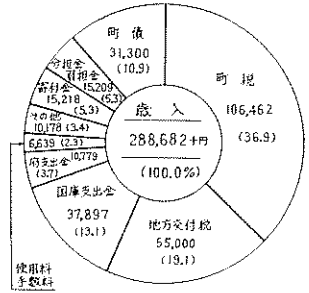
Table with 2 columns: 歳入 (歳入歳出予算額) and 歳出 (歳入歳出予算額). Includes items like 町税, 町民税, 固定資産税, etc.

42年度実施予定のおもな事業

(単位千円)

Table of planned major projects for FY42, including road paving, school construction, and agricultural facilities.

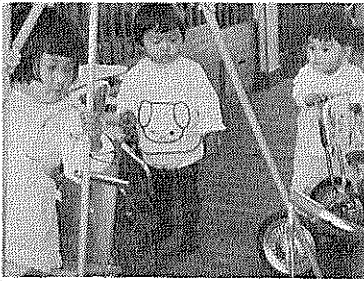
昭和42年一般会計予算の構成比



Large table detailing the breakdown of budget items, categorized by nature (e.g., 歳入, 歳出, 歳入合計) and specific project types.

とび出すな！車は急にとまれない (田辺町交通対策協議会から)

43年度 保育園児募集



入園受け付け

母親や母親以外の人が家庭で保育できない事情にある場合にかぎり入園の申請書は、町内各保育園、または役場福祉課でわたします。受け付け日時場所はつぎのとおりです。()内は入園年令(昭和45年4月1日現在)申請書が揃いましたら、22日から26日までの間においでください。

- 1月22日 普賢寺保育園(4才以上児)
- 1月23日 三山木保育園(4才以上児)
- 1月24日 草内保育園(3才以上児)
- 1月25日 大住保育園(2才以上児)
- 1月26日 田辺保育園(生後6か月以上児)

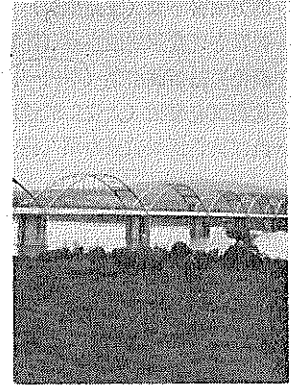
なお指定日に来られない人は1月31日までに役場福祉課へ。いづれも時間はあさ9時30分から午後4時までです。

昭和42年度分所得税改正のあらまし

控除区分	昭和41年分	昭和42年分	比較増減
基礎控除	137,500円	147,500円	10,000円
配偶者控除	127,500円	145,000円	17,500円
専従者控除	白色 142,500円	142,500円	前年分と同じ
	青色最高 225,000円	225,000円	
扶養控除	13才以上 60,000円	年令区分なし 67,500円	7,500円
	13才以下 57,500円		10,000円
	80,000円	80,000円	配控のないもの
老、障、寡、勤労学生等	税額控除 6,000円	所得控除 70,000円	
生命保険控除	36,800円	37,500円	700円
	25,000円までは全額 25,000円をこえる場合 支払額×1/2+12,500円		

配偶者控除および扶養控除の所得限度額が10万円に(改正前5万円)引上げられました。(但し譲渡所得・配当・不動産所得などで自己の勤労にもとづかない所得の場合は5万円以下です)児童福祉法の規定による里子も扶養親族として取り扱われます。

おしらせ 住民室



ふるさとの橋 ④
山城大橋(井手・城陽と田辺を結ぶ府下最長512メートルの橋)

人物往来

町自治功労者に

寺本幸男さん

前号の「人物往来」欄で町の自治功労者をお知らせしましたが、寺本幸男さん(興戸・現町議会文教厚生委員長)が掲載もれでしたのでおわびします。

固定資産関係諸台帳の閲覧と評価証明

土地・家屋・償却資産などの名寄帳または課税台帳の閲覧は所有者以外にはできないことはご存知ですが、あわせて評価証明も所有者以外には交付できませんのでご注意ください。なお所有者(納税義務者)に事故あるときは代理人に委任状を交付していただきますよう、とくにおねがいします。地方税法第二十二條(秘密漏えいに関する罪)を守っていただきますようお願いいたします。

くらしのひろば



住民登録の制度が昨年十一月十日から変わり、役場への届け出の手数が簡単になりました。いままでは、住民登録や国民年金、国民健康保険、配給、選挙など、それぞれの届け出が必要でした。

簡単になった 住民登録

それら住民みなさんの記録を一本にまとめるのが、この住民基本台帳法の目的です。この法律によって、新しい住民票は氏名、生年月日、男女別、世帯主と同居者との続き柄、住所など、いままでの記載事項に加えて米穀配給、国民健康保険、国民年金、選挙人名簿の四つが新しく記載され、あとは役場内のそう作でそれぞれ必要な台帳に登録されます。したがって手続きの窓口は一

新有権者の感想文募集

- 新有権者としての選挙に対する感想文
- ◇題 自由
- ◇枚数 200字詰原稿用紙10枚以内
- ◇応募資格 昭和22年1月1日から同23年12月31日までの間に生まれたもの
- ◇〆切 43.1.31まで
- ◇送り先 東京都中央郵便局内自治省選挙局管理課(くわしくは田辺町選挙管理委員会まで)

水道管を守ろう!
まだまだ寒さがつづく。水道管は布やコモ・ナワで巻いて凍結を防ごう。

戸籍謄・抄本が五十円に
このほど政令が改正され戸籍関係の手数料が昭和四十三年一月一日から、つぎのようにかわりました(カッコ内は旧料金)
◇戸籍・除籍謄抄本一枚につき、五十円(四十円)
◇戸籍簿・除籍簿の閲覧一戸籍につき、五十円(一件四十円)
なお、住民票謄抄本、印かん証明などの手数料は、それぞれの町村の条例で定められていますので、自分そのまゝすえおかれませう。